

注意

秘密指定解除
情報公開室

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係 (TEL2172) に連絡ありたい。

電信写

外儀官
事務次長
典房
長官
審議長
長官
参事
在任儀
参事
文会厚海
副長
参事
企調
副長
参事
旅移
副長
査
副長
次地中東
ア
東
対
長
北
西

総番号 (TA) R098699 5167 主管

79年 月 06日 21時 40分 中 国 発

79年 12月 06日 23時 27分 本 省 着

外務大臣殿 吉田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

総理訪中 (大平-トウ会談) (A)

第2629号 暗秘 大至急

6日午前標記会談が行われたところ、冒頭表けいに引続き行われた会談の様次を通り。

1. 政府借かん

(1) まず大平総理より以下の如く発言された。

中国の現代化の努力に対しわが国もできる限り協力したいという立場より本件について検討してきた。中国が西側諸国と広く交流することをかんな迎する。わが国としては欧米との協調、アジア、就中ASEAN諸国とのバランス、国ぜとして軍事協力は行わないとの方針で、先般コクボク副総理を通じ要請のあつた案件について検討してきた結果、病院を含む7つのプロジェクトに対し、わが国の財政をも考慮して協力することとした。6つのプロジェクトについては1979年度分として500億円、金利3%、10年すえ置き、その後20年償かん、調達方式は原則アンタイである。病院についても日中友好の象徴として協力したい。具体的なことは今後日中実務者間で話し合いたい。6案件については中国側の見積りでは15億ドルであるが、明年度以降の供り額はプロジェクトの進ちよく状況、わが国の借かん全体ののび等をふまえ毎年

米
長
参事
北
北
保
二
中
南
審
長
参事
一
二
欧
長
参事
西
東
洋
西
東
近
長
参事
次総経国資漁
経
長
参事
経国資
協
長
政技一開
技
書国二二理
条
長
参事
協規
国
長
参事
軍専
政経
科
長
科原
情
長
参事
プ内外
文
長
参事
一
二

注 意

秘密指定解除

情報公開室

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電 信 写

確定していきたい。詳細については本日午後半総理に正式に申上げ同意を得たい。

(2) 上記に対しトウ副総理は以下の如く発言した。

日本政府が本件を検討する場合、各方面の考慮を行うことは理解出来る。もち論われおれの希望をいえば、プロジェクトは多く、金額も多いにこしたことはない。しかしこれは第1回目である。中国の本件円借関係者は満足していないかも知れないが、わが個人からみれば結構だと思う。われわれから条件をつけるとすれば、これは第1回のことであり、今後の問題はこれから考える。これをきつかけとしたらよいということである。リ先念、コクボクはいろいろな意見をいうかも知れないが、なんといつても日本政府の考え方をそん重すべきと考える。

2. 中ソ会談

(大平総理より、従来^の経緯と今後の展望を質したのに対し、「トウ」は以下の如く述べた。)

モスクワでの第1ラウンドは終つた。結果からみると双方が自分の立場を説明したにすぎない。

ソ連の要求は貿易、科技協力、文化交流の「小さな問題」の解決及び国家関係の原則といったちゆう象的な「文書」に合意するといったことである。しかしこれでは実際の意味がない。中国側の具体的考え方は中ソ間の障害を取除くということである。中ソ国境に100万の軍隊を集結させ中国にきよういを与えておいて、空きよな「文書」をつくつても意味がない。中国は国境のソ連軍をフルシチョフ時代の規模まで減らし、またモンゴルのソ連軍の引きあげを主張した。インドシナ連邦という考え方や、そこにソ連の軍事基地をつくることはアジア、太平洋地域へのきよういとなるものであり、それは取除かなければならない旨主張した。

注 意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電信写

ソ連はもち論右に同意していないが、これらの解決がない限り、中ソ関係は改善しない。

自分が米国訪問した時米国はSALT IIの議会通過に一生懸命であつたが、実際自分は中国の立場として(1)会談では反対しない、(2)合意することに反対しない、(3)しかし合意文書をつくるだけでは実際の解決にならない、旨述べた。

中ソ間において空どう化した文書に調印してもソ連、中国、世界人民があざむくものである。国境会談も全く進展がないが、10年あまり続けてきた。

われわれは話合い自体には反対しないので現在の中ソ会談は今度は北京で話合うこととした。

4. 台湾問題、中国情勢、ウイエトナム問題については追電する。

(了)

写手交済(6日23時40分)